

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	4612 霧島市における区画整理による安全・安心なまちづくり (防災・安全) (第2期)							重点配分対象の該当	○										
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)		交付対象	霧島市															
計画の目標	隼人駅周辺整備において、土地区画整理事業の手法で駅前広場や幹線道路および宅地の整備をすることにより、地区内にある既存建築物の耐震化率の向上や幹線道路及び駅前広場の歩行空間のユニバーサルデザイン化による安全対策等を一体的、総合的に実施し安全・安心で良好なまちづくりを実現する。また、通学路として利用している児童生徒及び当該地域を居住圏としている未就学児や隼人駅を拠点とする交通機関や商業施設等を利用する全ての人が自由に使いやすく安全で安心して利用できる歩行者ネットワークの改善を進めるとともに、隼人駅を中心とした鉄道との交通結節機能を強化し新たな生活視点の整備を図る。																		
計画の成果目標 (定量的指標)	区域内におけるS55以前の既存建築物戸数を除却・建築し、建物の耐震化率の向上を図る。 施行区域内を通学路として利用している小学校、中学校の児童生徒及び未就学児等の通行における安全確保と利便性向上を実現させることを成果目標として、通学路の安全対策が必要な箇所に対し、歩道等を整備し安全対策を実施する。																		
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考										
						当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R5末)	最終目標値 (R7末)											
建物の耐震化率 (%) = ((区域にあるS55以前に建築され耐震性がある住宅+区域にあるS55以降に建築された住宅) / 区域にある居住世帯のある住宅棟数) × 100 (%)						73%	86%	100%											
(児童生徒及び未就学児等が安全に通行できるための歩道等の整備による安全対策の実施率) = (施行地区内の道路において安全対策を実施した延長) ÷ (施行地区内の道路において安全対策を必要とする延長) (%)						32%	86%	100%											
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	294百万円	A	294百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																			
A01 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
A01-001	街路	一般	霧島市	直接	霧島市	区画	改築	隼人駅東地区 ((都) 日当山線 外)	区画整理 A=13.1ha、駅前広場 A=3,500㎡	霧島市	R3	R4	R5	R6	R7	3,880	1.24	-	
											小計 (道路事業)								
											小計 (都市防災・公園事業)								
C 効果促進事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考					
											小計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考						
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考							

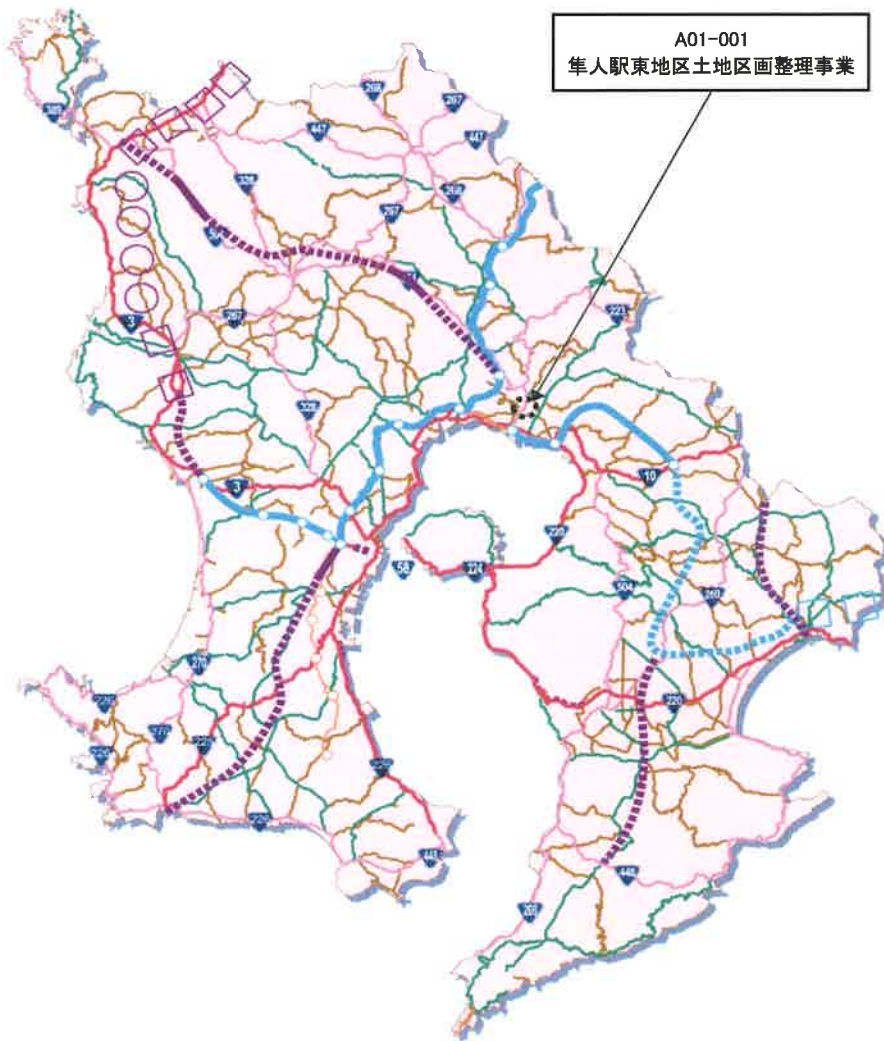
交付金の執行状況

(単位：百万円)

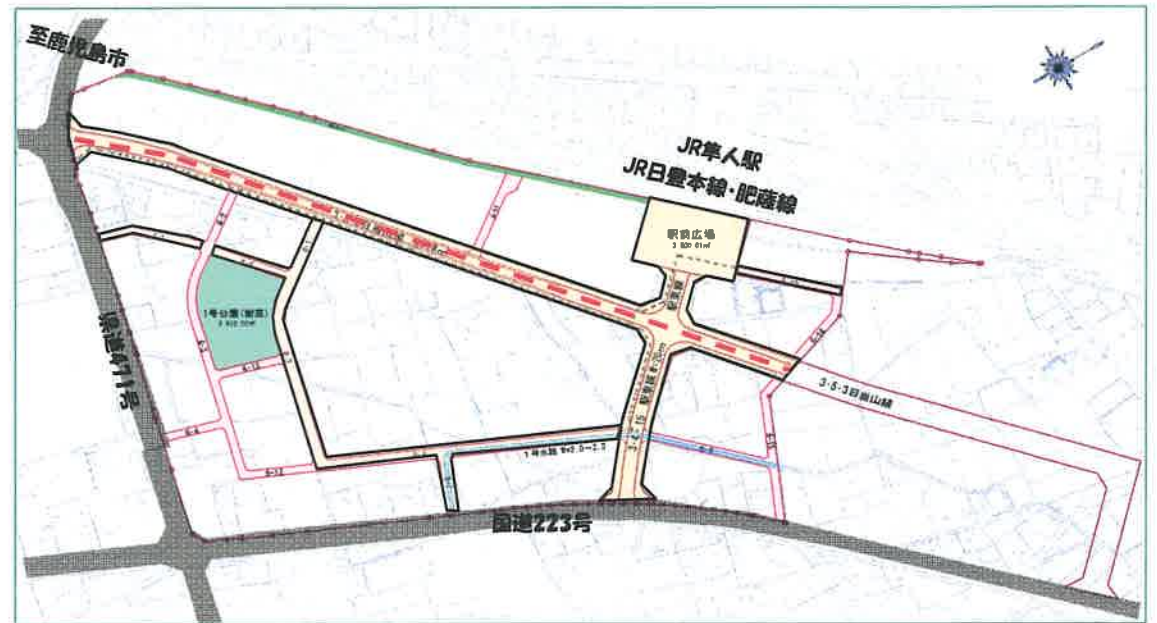
	R3	R4	R5	R6	R7
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場 合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	1470 霧島市における区画整理による安全・安心なまちづくり (防災・安全)	交付対象	霧島市
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)		



凡 例	
	交付金対象路線
	通学ルート



社会資本整備総合交付金 事前評価チェックシート (道路事業)

計画の名称: 霧島市における区画整理による安全・安心なまちづくり(防災・安全) (第2期)

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
整合を図っている上位計画名を記載。	第二次霧島市総合計画
2)広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
②目標の客観性・具体性・地域性	
1)数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
1)計画・事業の熟度が十分である。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○
3)計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○